

5 避難方法

- 火災で亡くなる原因で最も多いのが「逃げ遅れ」です。
- 外出先で火災に遭遇したときは、服装や荷物にこだわらず、できるだけ早く避難を開始しましょう。

① 煙の怖さ

- 火災が大きくなってくると煙が強く熱せられます。
- 熱せられた煙は、毎秒3～5mで勢いよく上昇します。また、横への広がりも、毎秒0.5～1mです。
- 煙には、一酸化炭素や塩素ガスなどの有毒ガスが含まれているため、大変危険です。

② 火災からの避難のポイント

- 天井に火が燃え移った場合は避難を優先してください。
- 避難はお年寄り・子ども・病人・障がい者を優先しましょう。
- 服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。
- 煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くして、濡れたタオルで口と鼻を覆い、室内なら壁伝いに脱出しましょう。
- 避難した後は、再び中に戻らないようにしてください。
- 避難するときにエレベーターを使用しないようにしてください。
- 自室から出火したら窓やドアを閉めて、他へ類焼しないようにして避難しましょう。

③ 着衣着火した場合の対処方法

「ストップ、ドロップ アンド ロール」

(止まり、倒れて、転がる) で消火する。

- 衣服に火がついたまま走ると、かえって火の勢いを大きくするので、その場に止まります。



- 燃えているところを地面に押しつけます。



- ゴロゴロと転がることで、衣服についた火が地面と当たって広い範囲の火も消すことができます。

